

温暖化対策の取組は、温室効果ガスの抑制や温暖化による影響の低減に寄与するだけでなく、我々の生活の質や利便性の向上など様々な副次的効果「コベネフィット」をもたらします。また、これらのコベネフィットは、地域の諸課題の解決に貢献する可能性があります。

例えば、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入は、化石燃料の消費を減らすとともに、災害時の非常用電源にもなります。また、都市機能の集約化などによる低炭素なまちづくりは、自動車への依存度を低下させるとともに、歩く機会の増加による健康増進にもつながります。

下の図では、本章1～2に掲載した取組から生じる主なコベネフィットと、名古屋市が抱える重点課題（p●●参照）との関連を体系的に整理しています。

今日の地球温暖化は、我々人間の活動に起因することから、温暖化の解決にあたっては、地域の経済的・社会的課題にも着目し、同時に解決することが望ましいと言えます。

環境、経済、社会の調和に向け、さらなるコベネフィットを追求し、地球温暖化と他分野の取組の効果的な連携を図ります。

